

## 水源環境の保全・再生に取り組むNPO等に対するアンケート集計結果

140団体に送付し、62団体から回答がありました。(回答率44%) (左...回答数 右...%)

あなたが代表する団体の活動の状況についてお尋ねします。

1-1 団体の性格は、次のどれですか。

- ア NPO法人 (43 - 69%)    イ 公益法人 (0 - 0%)  
 ウ 組織運営に係る規約等を有する任意団体 (17 - 27%)  
 エ 組織運営に係る規約等のない団体 (1 - 2%)

1-2 主(一番力を入れている)に活動する地域はどこですか。

- ア 横浜・川崎地域(横浜市・川崎市) (8 - 13%)  
 イ 横須賀・三浦地域(横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山郡) (6 - 10%)  
 ウ 県央地域(厚木市・大和市・海老名市・綾瀬市・座間市・愛甲郡) (7 - 11%)  
 エ 湘南地域(平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・秦野市・伊勢原市・中郡・高座郡) (16 - 26%)  
 オ 足柄上地域(南足柄市・足柄上郡) (5 - 8%)  
 カ 西湘地域(小田原市・足柄下郡) (7 - 11%)  
 キ 県北地域(相模原市) (7 - 11%)

1-3 活動する会員の方はどのような方ですか。

- ア 活動地域の住民が大部分 (36 - 58%)  
 イ 活動地域の住民とそれ以外の方が半分半分くらい (15 - 24%)  
 ウ 活動地域の住民以外が大部分 (11 - 18%)

1-4 主な(一番力を入れている)活動内容は次のどれに当たりますか。

- ア 森林整備関係 (15 - 24%)    イ 水質保全関係 (4 - 6%)    ウ 自然教育 (5 - 8%)  
 エ 体験・交流等 (4 - 6%)    オ ボランティア育成 (1 - 2%)    カ 調査・研究活動 (5 - 8%)  
 キ その他(10 - 16%)...間伐材の活用、河川環境全体、農地の保全、里地・里山保全など

1-5 実際に常時活動している人は何人くらいですか。

- ア 1～5人 (9 - 15%)    イ 6人～10人 (19 - 31%)    ウ 11人～20人 (19 - 31%)  
 エ 21人～50人 (6 - 10%)    オ 50人以上 (7 - 11%)

1-6 どのくらいの頻度で活動を行っていますか。

- ア 年に1～2回 (4 - 6%)    イ 年に3～5回 (7 - 11%)    ウ 年に6～12回 (5 - 8%)  
 エ 月に1～2回程度 (19 - 31%)    オ 月に3～4回 (17 - 27%)  
 カ その他 (8 - 13%)...毎日や週5回など

1-7 今年の年間活動経費(維持経費等を含む全ての経費)は、どれくらいですか。

- ア 50万円以下 (32 - 52%)    イ ～100万円 (17 - 27%)    ウ ～300万円 (8 - 13%)  
 エ ～500万円 (0 - 0%)    オ ～1,000万円 (1 - 2%)    カ 1,000万円以上 (2 - 3%)

1-8 活動経費の使途は、主にどのようなものですか。(複数選択可)

- ア 職員人件費 (7 - 11%)    イ アルバイト賃金 (4 - 6%)    ウ 交通費 (22 - 35%)  
 エ 謝礼等 (17 - 27%)    オ 物品購入費 (43 - 69%)    カ 通信費や保険代 (28 - 45%)  
 キ 委託費 (1 - 2%)    ク 会場使用料や機器リース代 (19 - 31%)    ケ 家賃・地代 (7 - 11%)  
 コ その他 (11 - 18%)...チェーンソー等の燃料代、昼食代など

1-9 活動経費は、主にどのような財源によって運営していますか。(複数選択可)

- ア 会員の会費 (47 - 76%)    イ 企業などの寄付金 (7 - 11%)  
 ウ 行政からの補助・委託 (22 - 35%)    エ 財団等からの支援 (6 - 10%)  
 オ その他 (13 - 21%)...事業収入、謝礼など

1-10 行政(財団法人等は除く)から補助金などの財政的支援をどの程度受けていますか。

- ア 受けていない (33 - 53%)    イ ～10万円 (10 - 16%)    ウ ～20万円 (7 - 11%)  
 エ ～50万円 (7 - 11%)    オ ～100万円 (1 - 2%)    カ ～200万円 (1 - 2%)  
 キ 200万円以上 (2 - 3%)...1,500万、2～300万

- 2 あなたが代表する団体の活動に対し、現在どのような県や市町村の支援が最も必要だと考えますか。
- ア 補助金等の財政的支援 (20 - 32%) イ 参加者の紹介・育成 (8 - 13%)  
 ウ 専門家の技術的アドバイス (3 - 5%) エ 森林や河川など活動する場所の確保 (5 - 8%)  
 オ 同じような活動をしている団体の情報提供 (2 - 3%)  
 カ その他 (4 - 6%)...リサイクル石炭の購入、活動拠点の建設、協働調査

今年度から個人県民税の超過課税を財源に、水源環境保全・再生の取組を進めており、現在、市民活動等への支援を検討しているところです。水源環境の保全・再生を進めていくための市民活動への支援にはどのようなものが必要だと考えますか。(代表者の個人的な考えで結構です。)

- 3 - 1 支援の対象団体はどのような団体等にすべきと考えますか。(複数選択可)
- ア 個人も含めていくべき (8 - 13%) イ NPOだけでなく任意団体も含めていくべき (45 - 73%)  
 ウ NPOだけの支援とすべき (10 - 16%) エ その他 (3 - 5%)...企業、地域自治会など

- 3 - 2 対象活動について、どのような活動を対象とすべきと考えますか。(複数選択可)
- ア 森林整備関係 (42 - 68%) イ 水質保全関係 (38 - 61%) ウ 自然教育 (34 - 55%)  
 エ 体験・交流等 (21 - 34%) オ ボランティア育成 (15 - 24%) カ 調査・研究活動 (28 - 45%)  
 キ その他 (8 - 13%)...里山の保全、荒廃農地整備、竹林整備など

- 3 - 3 財政的支援の限度額について、どのくらいとすべきと考えますか。
- ア 30万円程度 (14 - 23%) イ 50万円程度 (17 - 27%) ウ 100万円程度 (20 - 32%)  
 エ 200万円程度 (8 - 13%) オ それ以上 (1 - 2%)...1,000万円

- 3 - 4 支援期間について、どのくらいの期間で支援するべきと考えますか。
- ア 1年間 (6 - 10%) イ 2年間 (5 - 8%) ウ 3年間 (24 - 39%) エ 4年間 (0 - 0%)  
 オ 5年間 (19 - 31%) カ それ以上 (5 - 8%)...10年、15年、永年など

- 3 - 5 財政的支援以外にどのような行政支援が必要だと考えますか。(複数選択可)
- ア 参加者の紹介・育成 (23 - 37%) イ 専門家の技術的アドバイス (31 - 50%)  
 ウ 森林や河川など活動する場所の確保 (23 - 37%)  
 エ 同じような活動をしている団体の情報提供 (19 - 31%)  
 オ その他 (4 - 6%)...関係機関との調整、活動団体の紹介など

4 水源環境の保全・再生を目的とした財政的な支援制度ができれば、支援を受けたいと思いますか。また、どのような活動や経費にあてたいとおもいますか。

- ア 受けたい ( 円程度) (46)  
 10~50万円 (26 - 42%) 51~100万円 (11 - 18%) 101万円~200万円 (5 - 8%)  
 ・201万以上 (4 - 6%)...300万、500万円  
 (活動名 )...森林保全、河川水質浄化、里山再生の回答が複数あり、その他には湧水調査、  
 ビオトープづくり、間伐材の処理など  
 (経費の用途 (1 - 8を参考に記載してください。)) )
- ア 職員人件費 (1 - 2%) イ アルバイト賃金 (3 - 5%) ウ 交通費 (7 - 11%)  
 エ 謝礼等 (3 - 5%) オ 物品購入費 (10 - 16%) カ 通信費や保険代 (5 - 8%)  
 キ 委託費 (0 - 0%) ク 会場使用料や機器リース代 (6 - 10%) ケ 家賃・地代 (0 - 0%)  
 コ その他 (4 - 6%)...弁当飲食、運搬料、燃料代、施設建設費
- イ 受けたくない (2 - 3%)...理由の記載なし

- 5 その他ご意見があれば、お聞かせください。(市民事業等支援制度に係る意見を記載)
- ・水源地域の自然環境保全・再生活動への財政支援は、それぞれの地域で活動している団体には積極的に支出すべきである。
  - ・整備を必要としている森林が私有地のため、地権者との交渉及び契約等についての行政のかかわり・支援が欲しい。
  - ・小田原は一見「自然が豊か」のように思われるせいか、ボランティア人員が増えません。また活動してもなにか「利益が無いとおもしろくない」という考え...わたしたちの「自然に対して奉仕する」という発想に変えていくようにできないものでしょうか。水源税だけでは限度があります。まずは学校教育から。
  - ・とにかく「水源税をはらっているんだから」と、お金を払っているんだから「手はかさない」とならないよう、身近な活動団体を通じて、海川山に参加するよう行政からうながして欲しい。なにより、学校(小学校~)に参加できるよう、積極的に急いで支援してほしいと思います。

【アンケート結果の分析】

各活動分野において、活動団体が、年間どの程度活動経費がかかるのか。(活動内容と活動経費との関係性)	
森林整備関係に力を入れている団体 (15団体)	
1 50万円以下 (9 - 60%)	2 ~100万円 (2 - 13%) 3 ~300万円 (4 - 27%)
水質保全関係に力を入れている団体 (4団体)	
1 50万円以下 (3 - 75%)	2 1,000万円以上 (1 - 25%)
自然教育に力を入れている団体 (5団体)	
1 50万円以下 (2 - 40%)	2 ~100万円 (2 - 40%) 3 ~300万円 (1 - 20%)
体験・交流等に力を入れている団体 (4団体)	
1 50万円以下 (1 - 25%)	2 ~100万円 (2 - 50%)
ボランティア育成に力を入れている団体 (1団体)	
1 50万円以下 (1 - 100%)	
調査・研究に力を入れている団体 (5団体)	
1 50万円以下 (4 - 80%)	2 ~100万円 (1 - 20%)

各活動分野において、活動団体がどのような活動経費を必要としているのか。(活動分野と経費の用途との関係性)	
森林整備関係に力を入れている団体 (15団体)	
1 職員人件費 (2 - 13%)	2 アルバイト賃金 (1 - 7%) 3 交通費 (5 - 33%)
4 謝礼等 (3 - 20%)	5 物品購入費 (14 - 93%) 6 通信費や保険代 (9 - 60%)
7 会場使用料や機器リース代 (1 - 7%)	8 家賃・地代 (2 - 13%)
水質保全関係に力を入れている団体 (4団体)	
1 職員人件費 (1 - 25%)	2 アルバイト賃金 (1 - 25%) 3 交通費 (1 - 25%)
4 謝礼等 (1 - 25%)	5 物品購入費 (2 - 50%) 6 通信費や保険代 (1 - 25%)
7 家賃・地代 (1 - 25%)	
自然教育に力を入れている団体 (5団体)	
1 交通費 (4 - 80%)	2 謝礼等 (3 - 60%) 3 物品購入費 (1 - 20%)
4 通信費や保険代 (3 - 60%)	5 会場使用料や機器リース代 (1 - 20%)
体験・交流等に力を入れている団体 (4団体)	
1 交通費 (1 - 25%)	2 謝礼等 (2 - 50%) 3 物品購入費 (3 - 75%)
4 通信費や保険代 (2 - 50%)	5 会場使用料や機器リース代 (2 - 50%)
ボランティア育成に力を入れている団体 (1団体)	
1 物品購入費 (1 - 100%)	
調査・研究に力を入れている団体 (5団体)	
1 交通費 (1 - 20%)	2 物品購入費 (2 - 40%) 3 通信費や保険代 (2 - 40%)
4 会場使用料や機器リース代 (4 - 80%)	